

# 環境教育「まず、今できることから」

## 歴史に学ぶ

発行所：地域環境活性化協議会  
 編集者：代表幹事 高橋 賢一  
 連絡先：市民活動支援センター  
 尾張旭市渋川町三丁目5番地7  
 (渋川福祉センター内)  
 TEL 0561-51-2878



本場の遊びは「じつかりと庄  
 きてく子ども」を育てます。

「女の子遊ぶのもよりの水鉄砲」  
 水鉄砲は竹の一節を  
 使う筒先に小さな孔  
 をあけここから水を  
 射出する玩具である。

平成二十五年八月七日(水)  
 本地原児童館  
 午後一時三十分より  
 「水鉄砲づくり」

遊ばについては昔々から様々な研究がなされていまは先人の成果として遊びが子どもに体力がつく「社会性」が身につく「創造性」と工夫する力「かっこいい」を忍耐力「かっこいい」判断力と決断力がつくと「自己主張が得意になるようにする」  
 「発見驚き木」  
 「思議などの感動体験ができる」  
 「更にしまの若者にちがうまま取れない」  
 「コミュニケーション能力」



「主懸命遊ぶ子はキレイな子にならない」

「や」場の空気の認識能力が遊びによって鍛えられると思えます。いまあげたとても大切な人間としての基礎的な能力が子どもにかかわら「子ども遊び」が「習いや学力」というものに比べおろそかにされるのは結果が数値に表せられないことと進学や塾といふことと直接関係がななく、お屋に結びつかないように見えるからです。  
 「ア」「リ」勉強として本場の遊び「三つのパン」  
 スかとても重要です。

